

令和３年度第２回青少年指導関係運営協議会

日時 令和３年１０月２９日（金）

（書面会議にて開催）

回答委員 井上美鈴委員、中務公明委員、薄葉良委員、草苅洋子委員、
荒木弓夫委員、平野泰弘委員、清水寛委員、鈴木義信委員、
齋藤和利委員、長谷川宏美委員、水島享子委員、鈴木清委員

１４名のうち１３名が回答。半数以上の回答があるため会議は成立。

１ 協 議

① 令和３年度まなび支援センター青少年指導関係活動中間報告について

別添 資料 令和３年度木更津市まなび支援センター青少年指導関係
活動中間報告

【事務局説明】

まなび支援センターの青少年指導関係事業の中間報告について説明をいたします。

過日、第１回青少年指導関係運営協議会を開催し、本年度の方針についてご意見をいただき、ありがとうございました。その後の活動内容についてご報告いたします。

本年度につきましても、活動内容全体に新型コロナウイルスが大きく影響しており、会議等は書面開催となり、行事、研修会等の多くが中止とされています。

そのような中でも、街頭指導については、まなび支援センター所員による青パトでのパトロール及び青少年補導員による地区指導を実施してまいりました。９月末現在で７８回実施し、のべ２０９名が参加いたしました。

各地区の補導員からは、コロナの影響か子ども達の姿が見えなくなったという声もありましたが、子ども達を見守り、非行や犯罪の抑止力となるべく、引き続きパトロール等を実施してまいります。

特別指導につきましては、例年、「みなとまつり」における「花火大会」終了後の街頭指導を行っていましたが、令和３年度も「みなとまつり」等の市の行事が中止されたことから、補導員全体で行う街頭指導も中止いたしました。なお、コロナ禍の状況下ではありますが、６月にＪＲ乗車マナー指導を行い、高等学校の先生方とともに久留里線利用者に対し、声掛けを行うことができました。１１月には内房線利用者に対し声替えを行うよう準備し

ております。

青少年子育て相談については、相談数が増加傾向にあり、相談者については母親が圧倒的に多く、相談内容については、「その他」が多く、主に学校への不満や不信の相談が増えています。また、「子育て・しつけ」、「不登校」、「進路・生活」、「発達のこと」についての相談が目立ちました。さらに、相談者からの要望により、学校を通じて行う教育相談や心の相談室、医療機関などの紹介を行うケースが増加しています。

相談業務は、早急な判断を求められる場合もありますが、相談者の様子を感じとり、できるだけ話を聞き、気持ちを受け止め、関係諸機関へのつながりも意識しながら、相談者自身が自らの考えを整理できるよう、配慮しております。

また、本年度、ＩＣＴを安全に活用するため、インターネットリテラシーの向上を目指した啓発活動として、公民館へまなび支援センター職員を講師として派遣しております。また、引き続き、社会教育指導員を中心にネットパトロール実施し、県のネットパトロールの情報提供を基に、検索を行っております。

なお、１２月１０日（金）に木更津駅太田山口で学生を対象にＳＮＳの利用等について呼びかける街頭キャンペーンを行う予定であります。

活動報告については以上でございます。

（別添資料のとおり承認）